

鴨川市ケアマネジャー連絡協議会 災害研修会ワークシート①【居宅支援事業所+地域包括】

災害時に1人でできること	・事業所の被害状況の確認（建物、社用車等） ・他の職員の安否確認（法人内にて対応） ・利用者名簿の確認（優先度の確認、緊急連絡先の確認） ・市や福祉総合相談センターに被害状況を報告する ・他の職員への申し送り事項を作成 ・自身の安全確保 ・情報収集（ライフライン、道路などの情報） ・地域の医療介護機関の稼働状況 ・法人内の指示により対応 ・発電機等の点検 ・交通手段の確認
事業所として安否確認はどう対応しますか？	◎対象者 ・事業所の緊急連絡対応状況利用者一覧から優先付けをする。 事業所でグループ分けして対応。 ◎優先順位 ・独居、高齢者世帯、土砂災害警戒区域、医療機器使用者（在宅酸素等）、市内に身内がない、家屋倒壊する可能性がある家、透析患者、エアーマット利用者。 ◎安否確認の手順 ・二人体制で地図とマップを確認し訪問。二人体制でエリア分け。事業所の近くから確認。 ・地区ごとに担当分けをして帰宅時間を決めて対応⇒平常時からリスト作成。 ・他ケアマネジャーと情報共有し対応。 ・安全確保できた地域から実施。 ・営業中のサービス事業所からも情報収集する。（利用者、交通情報等） ・2次災害を予防しながら、二人体制で安否確認する。 ・道路状況等から安否確認の範囲を検討。2次災害の可能性がある場合は無理をしない。

台風災害にどう対応しますか？	台風が接近する前に確認すること	・利用者名簿の作成 ・個別での注意喚起 ・事業所の建物の安全性、備品（ガソリン満タン）の確認 ・事前避難の確認。・停電への対応。・水、食料等の確保。・書類や PC を窓際から離す。 ・職員の出勤体制の確認。・充電器の充電 ・防災ラジオのチェック ・建物の外の危険個所の確認。・土嚢の準備 ・窓ガラスに養生テープを張る。 ・独居、利用ニーズ、土砂災害区域の利用者に避難やショートステイの確認。 ・介護サービスの調整。 ・医療依存の高い人に停電時の対応を決めておく。 ・ヘルパーの買い物は多めに依頼する。 ・代替えサービスの確認や調整。
	台風が通過後に確認すること	・建物被害の確認 ・ライフライン ・近隣の状況確認（道路や建物被害） ・避難所の開設状況 ・医療が必要な方の支援（病院との連携） ・サービス事業所の稼働状況 ・安否確認（体調の声かけ）・市への稼働状況の報告 ・被害の恐れのあるエリアへの安否確認。

鴨川市ケアマネジャー連絡協議会 災害研修会ワークシート④【施設系】

災害時 後に対 応する こと	・ 4 階より上への避難 ・ 施設の被害状況確認 ・ 非常電源の燃料確保 ・ 暖房、照明の準備 ・ 水の確保 ・ 利用者の健康確認。 ・ エアーマットの対応 ・ 施設内のインフラ・災害対策本部の設置 ・ 保存水の利用 ・ トイレはポリタンク使用 ・ 津波の場合避難施設なので受入れ準備
災害時 の優先 業務	・ 利用者、近隣住民の健康観察 ・ 食事、水分補給 ・ 排泄・職員の安否確認 ・ 情報収集（近隣の被害状況等） ・ 職員の勤務調整・非常食の提供・排泄介助の回数減・入浴の中止 ・ エレベータ使用不可のため 2 階で対応。 ・ 福祉避難所の開設準備 段ボールベッドなど

台風 災害 にど う対 応し ます か？	台 風 が 接 近 す る 前 に 確 認 す る こと	・ 施設近隣の確認・土嚢準備 - 台風進路の確認・浴室に水をためておく ・ 発電機の準備 ・ 車両の燃料確認 ・ 断水に備えてディスポ容器の確保・窓ガラスの保護や危険物の除去・出勤職員の調整
	台 風 が 通 過 後 に 確 認 す る こ と	・ インフラ確認・職員の安否確認 ・ 被害状況確認 ・ 建物被害の確認 ・ 家族等への連絡 ・ 非常用物資の確認、補充 ・ 施設内の被害状況確認